

(協議事項)

子どもにやさしいまちづくり推進計画に伴う行動計画の進捗状況について

- | | | |
|---|----------------------|------------------|
| 1 | 新規事業 | 3件 |
| | (1) 子どもの居場所づくり推進事業 | |
| | (2) まつもと市議会こどもだよりの発行 | |
| | (3) セイジ・オザワ松本フェスティバル | 子どものための音楽会 (特別編) |
| 2 | 既存事業 | 248件 |
| | 別紙のとおり | |

新規事業概要及び担当課評価票

事業名	子どもの居場所づくり推進事業
担当課	こども福祉課
事業概要	子どもの孤食や欠食を防ぐとともに、学習支援や保護者支援を行う居場所づくりを推進します。

平成30年度 事業内容及び 担当課の評価	1 事業内容 (1) 事業の目的 地域の中で、子どもたちに食事や学習を提供する居場所が拡大することで、そこに参加する子どもたちの孤食や欠食を防ぐとともに、子どもたちが様々な人達と交流することを通じて、自分への自信向上を目指します。 (2) 事業の対象者 地域の子ども（自らの意志で参加が可能な児童） (3) 平成30年度の事業内容 ア 実施会場数 10会場（前年度 6会場） イ 参加人数 子ども 3,519人（前年度 1,193人） 支援者 2,258人（前年度 1,207人） 2 担当課の評価と課題等 (1) 評価 ・ 57.9%（66／114人）の子どもが、居場所に参加して初めて出会った人がいると回答しており、居場所が新たな交流の場となっていることがわかった。 ・ 63.4%（71／112人）の子どもが、居場所に参加してうれしかったこと、自分に自信がついたことがあったと回答しており、居場所への参加が自己肯定感の向上につながっていることがわかった。 (2) 課題等 ・ 会場の拡大に向けた周知方法について。 ・ 参加している子どもの88.8%（103／116人）はリピーターで、新規の参加者が少ない。
----------------------------	---

新規事業概要及び担当課評価票

事業名	まつもと市議会こどもだよりの発行
担当課	議会事務局
事業概要	若い世代に対する広報活動

平成30年度 事業内容及び 担当課の評価	1 事業内容 次世代を担う子ども達に、市議会の仕組みや活動について理解を深めてもらうために広報紙を発行しました。 (1) 発行実績 創刊号（5月）、第2号（11月） (2) 内容 ・創刊号：議会の仕組みや議員の仕事等を解説 ・第2号：税の仕組みや予算の使いみち、決定方法を解説 (3) 発行形態及び配布方法 ・A4版2ページ、カラー印刷 ・市内の小学校5、6年生及び中学生（全学年）に対して、学校を通じて配布するとともに、校内の掲示板にも掲示を依頼 (4) 今後の発行 年2回の発行とし、そのうち1回は創刊号の内容（議会の仕組みや議員の仕事）を見直したものを年度当初に発行します。 創刊号改訂版を、小学校5年生を対象に令和元年5月を目途に発行予定 2 担当課の評価と課題等 (1) 評価 市議会を身近に感じてもらうための新たな広報紙として発行ができました。 (2) 課題等 ・更に関心を持ってもらうための紙面内容の検討 ・配付対象者の検討
----------------------------	--

新規事業概要及び担当課評価票

事業名	セイジ・オザワ 松本フェスティバル 子どもための音楽会 特別篇
担当課	国際音楽祭推進課
事業概要	特別支援学校に通う子どもたちが生演奏の音楽にふれる機会として「子どものための音楽会 特別篇」を開催

平成30年度 事業内容及び 担当課の評価	1 事業内容 「良い音楽に触れたら、必ず子どもは反応する」という小澤征爾総監督の信念のもと、子どもたちに本物の音楽にふれてもらうため、フェスティバル設立の年から「子どもための音楽会」を開催し、地元の子どもたちを無料で招待してきました。 今年度の新たな取組みとして、障がいを持った子どもたちにも音楽を楽しんでいただくため、長野県内の特別支援学校に通う子どもたちを対象とした音楽会を開催しました。 ・対象者 長野県内と特別支援学校に通う子どもたち ※6校243人が参加 ・開催日 平成30年8月31日 ・場 所 まつもと市民芸術館 オープンスタジオ ・内 容 マーカス・ロバーツ・トリオによる生演奏の音楽会 2 担当課の評価と課題等 (1) 評価 障がいを理由に通常開催の音楽会に参加が出来ない（参加を見送る）子どもたちに音楽を楽しむ機会を創出することができました。 また、実際に参加した子どもたちも音楽に合わせて体を動かしたりするなど、思い思いに楽しんでいました。 (2) 課題等 実施にあたっては出演者の協力や学校との事前調整が必要など、継続開催については課題があります。 また、障がい等の程度によっては、会場に来ていただく事が困難な方もいることから、各学校や施設にこちらから出向く「出前コンサート」なども検討したい。
----------------------------	--